

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」松本校 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年11月20日		～ 2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	65	(回答者数) 63
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○個別にきめ細かい個々の児童の特性を配慮した支援プログラムを作成。	○パーティションで支援スペースを工夫して分けている。 ○工作など、良いものは共有しつつ、新しいオリジナル教材を準備している。 ○高校受験情報など、わかる範囲で共有している。	○児童への声のかけ方や児童が集中できるような環境づくり(療育スペースの構造化) ○他のきらりの事業所で使用している教材・アイデアを共有して活用する。
2	○構造上狭いと感じる反面、目が行き届くところ ○安心して通所できる場所になっている	○落ち着かなかつたり、多動傾向のある児童に関しては、支援者全員で見守ることでもヘルプ状態がつくれるよう意識している。 ○挨拶など、児童や保護者に積極的に声をかけている	○防災訓練や必要事項を伝えていく。 ○保護者や児童からの伝達・情報共有をきちんと行って信頼に繋げる。
3	○支援後のフィードバックにより、保護者様の意見をくみ取りやすい。 ○色々な視点からの支援が提供できる	○保護者様の意見は、全員で共有している。 ○職員間で情報共有して、各指導員の強みを活かしている。	○男性指導員もいるので、粗大運動や防犯体制の強化に取り組んでいきたい。 ○風とおしよく、意見が飛び交う雰囲気をつくることを目標としている。 ○内部研修やお助け隊を活用して、情報共有する。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○就学や就労へのサポート。	○園や学校との連携 ○行政の基幹事業やアクセスジョブとの連携	○支援者会議等だけでなく、就学・就労に向けた情報共有を継続的に行う。 ○他の就労事業所との連携を試みる。
2	○利用人数が多くなり、スペースが十分でない。 ○療育道具やおもちゃがみえてしまう。	○収納場所がない ○整理整頓が必要。	○パーティションやトランポリンなどものの配置を工夫している。支援具などが児童の視覚に入らないように工夫する。 ○児童の気持ちが高ぶったときには、10秒休憩を促し落ち着くことで、リスク回避している。
3	○地域との連携 ○保護者様の送迎負担	○個別の通所施設という業態なので、事業所として地域との連携が難しい一面がある(個別配慮)。 ○送迎サービスを行っていない。	○利用児童や保護者様へ個々に発信することで、地域のイベントや取組への参加を促す。 ○送迎サービスはないが、保護者様と対面で話ができる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」松本校 (放デイ)
------	-------------------------

公表日 2026年 2月 14日

利用児童数

65

回収数

63

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	50	8	4	1	・狭いです。 ・もう少し広い場所だと良いと思う。	・ご迷惑をおかけしております。教室環境の工夫に努めつつ、受け入れ日時の配慮を行ってまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	56	5	1	1	・先生方が人数ギリギリのときがあり、忙しそうで大変そうだなと思います。	・適正配置されていますが、支援数によってご心配をおかけして申し訳ございません。適切な運営を継続します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	46	13	1	3	・入口前の階段が、ベビーカーを使っていたときには大変だった。	・現在スロープや手すり等の設置はございません。お困りの際は、職員が対応させていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	60	2	0	1		・今後も衛生管理を徹底し、心地の良い環境を整えてまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	61	2	0	0	・こちらの要望にもすくに対応していただき、嬉しく思っています。	・今後も研修会や勉強会への参加を通じて、専門性とスキルの向上に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	62	0	0	1	・一つ一つこなして行くことが1番ですが、プログラムの内容が少ない気もしてしまふ。	・ご意見ありがとうございます。今後も誠実に丁寧な支援を継続してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	61	1	1	0	・送迎時、公共交通機関の融通が利かない。	・送迎サービスがないため、小さなお子様は保護者様と一緒に安全に通所いただけますようお願いいたします。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	61	1	0	1		・今後も誠実に、わかりやすい丁寧な支援を継続してまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	62	0	0	1		・今後も誠実に丁寧な支援を継続してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	58	5	0	0		・お子さまの成長や変化に合わせながら支援の工夫を行ってまいります。ご意見ありましたらお気軽に申し出下さい。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	19	8	17	19	・地域の学校へは通っていないため、特に希望していません。 ・他市町村からお世話になっているので、地元の事業所に対応いただいています。	・主に個別支援を提供させていただく事業所ではございますが、ご希望がございましたら、他機関と連携を図りながら対応してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	62	1	0	0		・複雑な内容であっても、今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	63	0	0	0		・今後も丁寧な説明に努めてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	39	6	5	13	・現在、特に希望はしていません。	・感染症対策としての配慮は必要ですが、ご家族様を対象としたイベントの企画も検討してまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	61	2	0	0		・フィードバックや共有の機会を大切に、今後も丁寧な情報提供と共有に努めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	59	1	2	1		・スポット的に利用の少ない児童保護者様への助言は少なくなりますが、随時相談の機会を設定可能です。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	62	1	0	0		・今後もお子さまや保護者様に寄り添ったサービスの提供に努めてまいります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	13	7	22		・感染症予防に配慮しつつ、保護者様同士の連携が取れるように相談の場を設けております。保護者様を対象としたイベントの企画も検討してまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	53	2	0	8		・相談支援については契約時にご案内していますが、より利用しやすいよう周知に努めます。日程調整を行い、随時対応可能となっております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	61	1	0	1	・なぜなら片親からの伝達配慮に欠ける。	・直接の他にも、電話やメールといった電子機器を使用したやりとりが可能となっております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	38	8	0	17	・子どもが親のもめごとで発言がきつくなっている。	・活動の様子を定期的にブログを通して伝えております。目に留めていただきやすいように情報発信方法の工夫を行ってまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	58	2	0	3	・学校が配慮が足りない。	・個人情報記載された書類は鍵付きの書庫に保管しております。学校での配慮はわかりませんが、適切な対応を継続してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	56	2	1	4		・今後も、年度始めに防災訓練計画を立てて実施してまいります。また、実施報告の周知を行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	51	1	2	9		・毎月様々な災害を想定した防災訓練を実施しています。年に2回はお子様も参加して一緒に訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	51	5	0	7		・安全計画のもと、教室運営をしております。おかげ様で事故はほとんどなく、安全に支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	49	1	1	12		・事故発生時には、速やかに保護者様へ謝罪と報告をしております。再発防止に努めております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	62	0	0	1	・安心して通所しているが、通所に時間がかかる（送迎が難しい）ため疲れてきている。	・今後も安心してご利用いただけるように、努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	59	2	0	2		・今後も楽しみながらご利用いただけるように、サービスの提供に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	62	0	0	1	・いつもきめ細かな支援をしていただき、ありがとうございます。	・ありがとうございます。お子さまの成長に合わせて、満足してご利用いただけるように努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」松本校 (放デイ)		公表日		2026年 2月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	粗大運動をする際には十分な広さを確保することが課題です。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		個別支援を基本に、集団支援を適宜とりいれながら、児童が安全に活動できるように工夫しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ワンフロアでわかりやすく区切っています。出入口に数段の階段がありますが、昇降が困難な利用者様には職員がサポートするなどの工夫をしています。	ワンフロアであるため、今後もパーテーションで区切ったり環境整備等をし、刺激への配慮をます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		消毒や換気を行い、児童が心地よく過ごせるように工夫しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		スペースに限りはありますが、児童のこだわりや希望にあわせて環境を工夫しています。	今後も特性に配慮した対応をしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日朝礼・夕礼にて業務改善を図っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を活用し、意向を把握し、業務改善につなげています。	中途入社や異動職員に対しては、個別に共有作業を行うことが課題です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常日ごろから、職員の意見等を発信・検討できる環境づくりを心掛けています。	定期的に1対1の個別面談の実施を心掛けています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		保護者と法人内の2者評価をおこなっており、第三者評価の実施は検討中です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		～3か月の初任者研修を実施し、その後もすべての職員対象に、階層別・継続的に研修を行っております。	今後も全ての職員が継続的に研修に参加していけるよう努めます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援計画に沿った支援プログラムを制作しています。決められた方法で公表します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		計画期間ごとにアセスメントをとった上で個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こどもの支援に直接関わる指導員の意見を基に、児童発達支援管理責任者が意見をまとめ、こどもの成長段階を考慮した上で作成しています。	職員全員がサービス提供と計画作成の流れを理解し、知識を得て、サービス提供を実施することが課題です。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全職員が共有し、計画に沿った支援を心掛けています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		統一したアセスメントシートを使用しています。情報共有として、児童の様子を法人指定のアプリで共有しています。	今後も適応状況の確認に努めていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」「家族支援」「移行支援」を計画にとりいれながら、必要な支援内容を設定しています。	今後は、可能な範囲で「地域支援・地域連携」に力を入れていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的に子どもの事例を共有・議論する検討会を開催しています。	入社して日の浅い職員も意見が言いやすい職場環境を整えることが課題です。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		可能な範囲で効果的に楽しく学べる指導を心がけています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		福祉サービス計画のもとに、学校や他事業所との併用を加味した個別支援計画を作成しています。	平等にサービス提供ができるよう工夫を行います。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝・夕礼を毎日実施し、職員間の情報共有を心がけています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		朝・夕礼を毎日実施し、職員間の情報共有を大切にしています。	連絡事項が多い日には終礼時間が延びてしまう日もあるため、隙間時間をみつけて業務時間内に引継ぎを行うよう努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援記録をとり、見直すことで、お子様の成長や生活環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを	モニタリングのタイミングと計画更新月の把握をし、協力しながら進めます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		福祉サービス計画のもとに、学校や他事業所との併用を加味した個別支援計画を策定しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個々の課題や目標に基づき、可能な限り自己選択・自己決定を促しています。	お子さまの自己決定による柔軟的なサービス提供が行えるように支援力を向上させることが課題です。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者をはじめ、その子供の支援に携わっている指導員が協力して可能な限り会議に参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関との連携を大切にしています。	他事業所等への見学や訪問の機会を積極的に作る事が課題です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校担任の先生や特別支援コーディネーターを窓口情報共有を行っています。支援者会議を通して学校での支援方法に関するご提案を行っています。	送迎は行ってないため、必ずしも必要な情報ではありませんが、年間行事表は利用児童の全校舎分を集約するよう努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		適宜、直接情報共有を行うほか、保護者様や支援者会議を通して総合理解に努めています。必要に応じて連絡ノートを用いて情報提供しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		適宜、直接情報共有を行うほか、保護者様や支援者会議を通して相互理解に努めています。	障がい福祉サービスに移行する際には、幼少期の情報が課題解決のヒントになることがあります。双方にとって連携を強化することが大切と考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		発達支援研究所など、内外部の専門機関と連携し助言をいただいています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		限られた活動時間の中で実施が難しいことから、交流する機会はありません。	個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置付けられた上で機会を設けます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		都合のつく範囲で、地域の自立支援協議会への参加を計画します。	すべての職員が参加ができる機会をつくります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援終了後に、毎回、保護者様へのフィードバックの時間を設けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		支援後のフィードバック時に、有効的な対応方法がある場合には、指導員よりアドバイスをしています。	グループ相談会などの参加を通してきっかけづくりをしています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時、丁寧に説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者さまにモニタリングをしながら意向を確認しています。	保護者様の希望も考慮しながら、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を大切にしています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		体面にて、計画を示しながら説明し、保護者様から同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。	必要に応じてご希望の保護者様に対しては、家族面談等を実施しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	感染症流行前には、必要に応じて保護者会等を開催するなどして、保護者同士の交流・連携を支援してきました。フィードバックの時間に一緒に来校された兄弟との交流する機会があります。	交流の場となるイベントの開催を検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		事業所に苦情受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問合せ窓口電話を設置しています。	頂いた苦情に対しては、社内フローに基づき、迅速かつ適切に対応しています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		教室内に活動内容やイベントの案内、おたより等を定期的に掲示しています。集団活動の内容に関しては、ブログに定期的に発信をしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に記載された書類は、第三者の目が届きにくいよう押鎖し、鍵付きのキャビネットに保管しています。	個人情報を扱う際には、職員以外の人の目に触れないように注意しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		話し方やテンポ、視覚的配慮など、相手にとって理解しやすい伝え方を試みています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	希望があれば、教室内の見学や保護者様の了解を得た上で指導の様子を公開することも検討します。	集団活動（きらりひろば）を通して、利用児童以外の参加を奨励しています。最近では感染症流行を配慮し、不特定多数の交流の機会を控えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを策定し、周知徹底しています。定期的に見直しをしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難・救出・連絡等その他必要な訓練や確認を月1回実施しています。職員間および保護者様との連携を想定しています。	常に意識を高めて業務にあたるのが課題です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約前に、服薬やてんかん発作等、こどもの状況を確認しています。また、定期的にアセスメントの中で、状況の変化を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		面談時にお子様のアレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないように留意しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成するとともに、現場での安全管理について、管理者を中心に十分な注意を払っています。	計画的に研修を実施し、常に意識を高めて業務にあたるのが課題です。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に、災害時の避難先、避難方法を保護者様に説明しています。月1回の安全確保のための訓練も、事業所内にチラシを掲示して定期的に取り組んでいます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		些細な事でも、ヒヤリハット報告を作成するよう促し、職員間で共有した上で保管しています。	各自が危険予測の習慣を身に付けることで再発防止を心掛けています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人および委員会で定めた事業所単位での研修を実施しています。	虐待防止および身体拘束の禁止に関する研修を、年1回以上実施しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		アセスメントをとる際に、必要な場合には同意書を作成し、事前に委員会に報告することになっています。	研修等で知識を得て、会社のルールに沿って、適切な対応が行えるように備えます。	